

○ 航空法第二十九条第四項の規定により国土交通大臣が申請により指定した航空従事者の養成施設の課程を修了した者に対する実地試験についての免除に関する告示（平成十二年運輸省告示第三百三十三号）

航空法第二十九条第四項の規定により国土交通大臣が申請により指定した航空従事者の養成施設の課程を修了した者に対する実地試験についての免除に関する告示

- 1 別表一の第一欄に掲げる航空法（以下「法」という。）第二十九条の技能証明、法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更、法第三十四条第一項の計器飛行証明又は同条第二項の操縦教育証明に係る同表の第二欄に掲げる法第二十五条第一項、第二項及び第三項の規定による航空機の種類、等級若しくは型式又は業務の種類についての限定の別ごとに定める法第二十九条第四項の規定により国土交通大臣が申請により指定した航空従事者の養成施設（以下「指定航空従事者養成施設」という。）の課程であつて、同表の第三欄に掲げる教育の種類の別ごとに定める教育科目について同表の第四欄に掲げる教育時間又は回数以上の教育を行うものを修了した者（第六項の規定に該当する者を除く。）に対する実地試験については、申請により、その全部を行わない。
- 2 別表二の第一欄に掲げる法第二十九条の技能証明、法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更、法第三十四条第一項の計器飛行証明又は同条第二項の操縦教育証明に係る同表の

第二欄に掲げる法第二十五条第一項、第二項及び第三項の規定による航空機の種類、等級若しくは型式又は業務の種類についての限定の別ごとに定める指定航空従事者養成施設の課程であつて、同表の第三欄に掲げる教育の種類の別ごとに定める教育科目を行うものを修了した者に対する実地試験については、申請により、同表の第四欄に掲げる実地試験の科目を行わない。

3 別表二の第一欄に掲げる航空法施行規則（昭和二十七年運輸省令第五十六号。以下「規則」という。）第五十条の三第三項第二号の整備の基本技術の科目に係る同表の第二欄に掲げる法第二十五条第一項及び第三項の規定による航空機又は業務の種類についての限定の別ごとに定める指定航空従事者養成施設の課程であつて、同表の第三欄に掲げる教育の種類の別ごとに定める教育科目を行うものを修了した者に対する実地試験については、申請により、同表の第四欄に掲げる実地試験の科目を行わない。

4 准定期運送用操縦士の資格についての法第二十二条の技能証明又は法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更に係る航空機の型式についての限定の別ごとに定める指定航空従事者養成施設の課程であつて、継続的な評価によりその教育の内容及び方法が適切に行われていると国土交通大臣が認めるものを修了した者に対する実地試験については、申請により、その全部を行わない。

5 定期運送用操縦士の資格についての法第二十二条の技能証明若しくは法第二十九条の二第一項の

規定による技能証明の限定の変更又は事業用操縦士の資格についての法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更に係る航空機の型式についての限定の別ごとに定める指定航空従事者養成施設の課程であつて、航空機の運航の実態に係る分析に基づき、訓練生が習得すべき能力を明らかにした上で、当該養成施設における教育及び技能審査の継続的な分析に基づき、当該能力の習得に十分な教育の内容及び方法並びに技能審査の方法を定めると国土交通大臣が認めるものを修了した者に対する実地試験については、申請により、その全部を行わない。

6 一等航空整備士、二等航空整備士、一等航空運航整備士又は二等航空運航整備士の資格についての法第二十九条の技能証明又は法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更に係る航空機の種類、等級又は型式についての限定の別ごとに定める指定航空従事者養成施設の課程であつて、航空機の整備の実態に係る分析に基づき、訓練生が習得すべき能力を明らかにした上で、当該養成施設における教育及び技能審査の継続的な分析に基づき、当該能力の習得に十分な教育の内容及び方法並びに技能審査の方法を定めると国土交通大臣が認めるものを修了した者に対する実地試験については、申請により、その全部を行わない。

7 次の各号に掲げる指定航空従事者養成施設の課程であつて、当該課程の教育の種類及び科目に係る教育時間又は回数が適切であると国土交通大臣が認めたものを修了した者に対する実地試験については、申請により、その全部を行わない。

- 一 規則第六十四条の二の規定により条件が付された操縦教育証明についての課程
- 二 法第二十九条の二第一項の規定による技能証明の限定の変更に係る航空機の型式についての限定の別ごとに定める課程であつて、類似する型式についての技能証明を有している者を対象とするもの

附 則（平成二十四年三月二十八日国土交通省告示第三百三十八号）

この告示は、航空法の一部を改正する法律（平成二十三年法律第五十号）の施行の日から施行する。

附 則（平成二十九年三月三十一日国土交通省告示第二百七十三号）

この告示は、平成二十九年四月一日から施行する。

附 則（令和三年十一月一日国土交通省告示第千三百九十三号）

この告示は、公布の日から施行する。

附 則（令和七年三月二十七日国土交通省告示第二百十六号）

この告示は、公布の日から施行する。

附 則（令和七年四月二十一日国土交通省告示第三百三十四号）

この告示は、令和十年四月一日から施行する。

附 則（令和七年六月十一日国土交通省告示第四百六十一号）

この告示は、令和八年四月一日から施行する。

附 則（令和七年六月二十六日国土交通省告示第四百七十八号）

この告示は、公布の日から施行する。

別表一

技能証明、技能証明の限定 の変更、計器 飛行証明又は 操縦教育証明	航空機の種 類、等級若 しくは型式 又は業務の 種類	教育の種類及び教育科目	教育時間 又は回数
一 航空工学 二 航空気象 三 空中航法			



事業用操縦士の資格に係る技能証明		
飛行機		
学科教育	実技教育	
回復を行う飛行	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第七号の科目を除く。）</p> <p>二 救急法</p> <p>三 プロフェッショナルとしての意識の醸成</p>	<p>一 空港等及び場周経路における運航</p> <p>二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p> <p>三 基本的な計器による飛行</p> <p>四 異常時及び緊急時の操作</p> <p>五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>六 野外飛行</p>
四百六十時間	百五十時間	

	回 転 翼 航 空 機		
	実 技 教 育	学 科 教 育	
<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第二</p>	<p>一 飛行機の項実技教育の項の科目（第八号の科目を除く）</p> <p>二 地表付近における操作</p>	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第七号及び第十号の科目を除く。）</p> <p>二 救急法</p> <p>三 プロフェッショナルとしての意識の醸成</p>	<p>七 夜間の飛行</p> <p>八 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行</p>
百六十	百時間	四百六十時間	



飛行機			
学科教育	実技教育	学科教育	
号、第七号及び第十号の科目を除く。）	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項 飛行機の項実技教育の項の科目（第八号の 科目を除く。）	一 航空工学 二 滑空飛行に関する気象（概要） 三 空中航法 四 航空通信（概要） 五 国内航空法規（概要） 六 航空の安全に関する一般知識 七 救急法 八 滑空機の取扱いに関する一般知識	時間 三十五
二 航空気象（簡略な概要）			
三 救急法			

技能証明 の資格に係る 自家用操縦士			
滑 空 機			
動力滑 空機		上級滑 空機	
	実技教育	学科教育	実技教育
九 滑空機の操縦に関する一般知識	一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行 三 外部視認目標を利用した飛行を含む空中 操作 四 ソアリング 五 野外飛行 六 異常時及び緊急時の操作	一 曳航装置なし動力滑空機の項学科教育の 項の科目（第四号の科目を除く。）	一 曳航装置なし動力滑空機の項実技教育の 項の科目（第二号及び第五号の科目を除く 。）
	時間 三十七	時間 三十五	七十回

一等航空整備士の資格に係る技能証明				
機	回 轉 翼 航 空	飛行機又は回 轉 翼 航 空	機	回 轉 翼 航 空
		学科教育	実技教育	学科教育
一	整備の基本技術に関する技術	一 機体に関する知識 二 発動機に関する知識 三 電子装備品等に関する知識 四 航空法規等 五 整備の基本技術に関する知識	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項 回 轉 翼 航 空 機 の 項 実 技 教 育 の 項 の 科 目	一 飛行機の項学科教育の項の科目 二 各種離陸及び着陸 三 曳航 <small>えい</small> による飛行
		時間 千四百	時間 三十五	時間 百六十

	<p>二等航空整備士の資格に係る技能証明</p>
	<p>飛行機又は回転翼航空機</p>
<p>実技教育</p>	<p>学科教育</p>
<p>二 整備に必要な知見 三 整備に必要な技術 四 航空機の点検作業に関する技術 五 動力装置の操作に関する技術</p>	<p>一 航空法施行規則の一部を改正する省令（令和三年国土交通省令第十三号）による改正前の規則付属書第一に規定する耐 空類別が飛行機普通Nである飛行機又は回転翼航空機普通Nである回転翼航空機（以下「N類の航空機」という。）の機体に関する知識 二 小型の発動機に関する知識 三 N類の航空機の電子装備品等に関する知識 四 航空法規等</p>
<p>千五百 七十時間</p>	<p>六百五 十時間</p>

<p>一等航空運航 整備士の資格 に係る技能証 明</p>			
<p>飛行機又は 回転翼航空 機</p>			
実技教育	学科教育	実技教育	
<p>一 整備の基本技術に関する基礎技術</p> <p>二 整備に必要な一般的知見</p>	<p>一 機体及び電子装備品等に関する一般知識</p> <p>二 発動機に関する一般知識</p> <p>三 航空法規等</p> <p>四 整備の基本技術に関する基礎知識</p>	<p>一 整備の基本技術に関する技術</p> <p>二 N類の航空機の整備に必要な知見</p> <p>三 N類の航空機の整備に必要な技術</p> <p>四 N類の航空機の点検作業に関する技術</p> <p>五 N類の航空機の動力装置の操作に関する技術</p>	<p>五 整備の基本技術に関する知識</p>
八百九	七百二十時間	千百三十時間	

		二等航空運航 整備士の資格 に係る技能証 明	
		飛行機又は 回転翼航空 機	
		学科教育	
		実技教育	
<p>一 N類の航空機の機体及び電子装備品等に関する一般知識</p> <p>二 小型の発動機に関する一般知識</p> <p>三 航空法規等</p> <p>四 整備の基本技術に関する基礎知識</p>		<p>三 整備に必要な基礎技術</p> <p>四 航空機の日常点検作業に関する技術</p> <p>五 動力装置の操作（燃料の燃焼により動力装置を駆動させて行う作動点検に係るものを除く。）に関する技術</p>	十五時間
<p>一 整備の基本技術に関する基礎技術</p> <p>二 N類の航空機の整備に必要な一般的知見</p> <p>三 N類の航空機の整備に必要な基礎技術</p> <p>四 N類の航空機の日常点検作業に関する技</p>			<p>五百四</p> <p>十時間</p>

	機体構造関係	
	実技教育	学科教育
一 整備の基本技術に関する技術 二 機体構造に関する知見 三 機体構造に関する技術	一 航空工学に関する一般知識 二 機体構造に関する知識 三 航空法規等 四 整備の基本技術に関する知識 五 整備及び改造に必要な品質管理に関する知識	術 五 動力装置の操作（燃料の燃焼により動力装置を駆動させて行う作動点検に係るものを除く。）に関する技術
六百二十時間	十時間 九百四	

	機体装備品 関係		ピストン発 動機関係	
	学科教育	実技教育	学科教育	実技教育
	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（ 第二号の科目を除く。） 二 機体装備品に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 機体装備品に関する知見 三 機体装備品に関する技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（ 第二号の科目を除く。） 二 ピストン発動機に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 ピストン発動機に関する知見 三 ピストン発動機に関する技術
	九百四 十時間	七百七 十時間	千十時 間	四百四 十時間



航空工場整備士の資格に係る技能証明			
タービン発動機関係		プロペラ関係	
学科教育	実技教育	学科教育	実技教育
一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 タービン発動機に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 タービン発動機に関する知見 三 タービン発動機に関する技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 プロペラに関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 プロペラに関する知見 三 プロペラに関する技術
千十時間	六百四十時間	千時間	三百七十時間

計器関係		電子装備品 関係	
学科教育	実技教育	学科教育	実技教育
一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（ 第二号の科目を除く。） 二 計器に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 計器に関する知見 三 計器に関する技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（ 第二号の科目を除く。） 二 電子装備品に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 電子装備品に関する知見 三 電子装備品に関する技術
九百五 十時間	三百五 十時間	九百五 十時間	三百五 十時間

無線通信機器関係		電気装備品関係	
実技教育	学科教育	実技教育	学科教育
一 整備の基本技術に関する技術 二 無線通信機器に関する知見 三 無線通信機器に関する技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 無線通信機器に関する知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 電気装備品に関する知見 三 電気装備品に関する技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 電気装備品に関する知識
十時間 三百五	十時間 九百五	十時間 三百五	十時間 九百五

		事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更	
飛行機又は回転翼航空機の等級		飛行機又は回転翼航空機の等級	
実技教育	学科教育	実技教育	学科教育
一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機又は回転翼航空機の等級の項実技教育の項の科目	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機又は回転翼航空機の等級の項学科教育の項の科目	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項実技教育の項の科目（第六号から第八号までの科目を除く。）	一 航空工学 二 航空法規 三 航空機の取扱いに関する一般知識 四 航空機の操縦に関する一般知識
間 十五時	間 三十時	間 十五時	間 三十時

定の変更 技能証明の限 の資格に係る 自家用操縦士			
機 空 滑			
等級 空機の 上級滑	等級 空機の 動力滑 置なし 曳航装 <small>えい</small>	実技教育	学科教育
科目 滑空機の項上級滑空機の項実技教育の項の	一 自家用操縦士の資格に係る技能証明の項 滑空機の項実技教育の項の	一 自家用操縦士の資格に係る技能証明の項 滑空機の項曳航装置なし動力滑空機の項実 技教育の項の科目	一 航空通信（概要） 二 国内航空法規（概要） 三 滑空機の取扱いに関する一般知識 四 滑空機の操縦に関する一般知識
三十回	十時間	時間 二十五	十時間

	二等航空整備士の資格に係る技能証明の限定の変更				
	飛行機又は回転翼航空機の等級				
	学科教育	実技教育	学科教育	実技教育	
一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明	一 N類の航空機の整備に必要な基礎技術 二 N類の航空機の日常点検作業に関する技術	一 小型の発動機に関する一般的知識	一 N類の航空機の整備に必要な技術 二 N類の航空機の動力装置の操作に関する技術	一 小型の発動機に関する知識	
	時間 三十時	時間 三十五	時間 六十時	時間 三十五	

定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更		定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更	
飛行機の型式		飛行機の型式	
学科教育	実技教育	学科教育	実技教育
一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明	一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の型式の項実技教育の項の科目	一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の型式の項学科教育の項の科目	の項飛行機の項学科教育の項の科目（第二号から第四号まで及び第六号の科目を除く。）
三十七	十八時間	三十七時間	三十七時間

	<p>更 明の 限定 の変 更</p>	<p>准定期運送用 操縦士の資格 に係る技能証 明の限定の変 更</p>		
		<p>式 飛行機の型</p>		<p>機の型式</p>
	<p>実技教育</p>	<p>学科教育</p>	<p>実技教育</p>	
	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明 の限定の変更の項飛行機の型式の項実技教 育の項の科目</p>	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明 の限定の変更の項飛行機の型式の項学科教 育の項の科目</p>	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明 の項飛行機の項実技教育の項の科目（第六 号の科目を除く。）</p>	<p>の項飛行機の項学科教育の項の科目（第二 号から第四号まで、第六号及び第十号の科 目を除く）</p>
	<p>間 十八時</p>	<p>時間 三十七</p>	<p>間 十八時</p>	<p>時間</p>



<p>一等航空整備士の資格に係る技能証明の限定の変更</p>	<p>飛行機又は回転翼航空機の型式</p>
<p>実技教育</p>	<p>学科教育</p>
<p>一 一等航空整備士の資格に係る技能証明の項飛行機又は回転翼航空機の項実技教育の項の科目（第一号の科目を除く。）</p>	<p>一 推測航法及び無線航法 二 航空機用計測器（概要） 三 航空気象（概要） 四 航空気象通報式 五 計器飛行等の飛行計画 六 計器飛行等に関する航空法規 七 航空通信に関する一般知識</p>
<p>間 九十時</p>	<p>間 七十時</p>

		計器飛行証明	
飛行機		回転翼航空機	
	学科教育	実技教育	
一 操縦の教育の要領及び模範実技（事業用）	一 操縦教育の実施要領 二 危険及び事故の防止法 三 救急法 四 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行	一 空中操作及び型式の特性に応じた飛行 二 計器飛行方式による飛行 三 異常時及び緊急時の操作	八 計器飛行等に関する人間の能力及び限界に関する一般知識 九 航空機の取扱いに関する一般知識 十 航空機の操縦に関する一般知識
二十五	間 四十時	間 四十時	

操縦教育証明

滑空機		回転翼航空機		
実技教育	学科教育	実技教育	学科教育	実技教育
一 飛行機の項実技教育の項の科目（第二号の科目を除く）	一 飛行機の項学科教育の項の科目（第四号の科目を除く）	一 飛行機の項実技教育の項の科目（第二号の科目を除く。）	一 飛行機の項学科教育の項の科目（第四号の科目を除く。）	操縦士の資格についての技能証明に係る実地試験の科目に関するもの） 二 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行
間 十時 （十回	間 四十時	時間 二十五	間 四十時	時間

以上の滑 空による 着陸を含 む。）

備考 第三欄に掲げる教育科目並びに第四欄に掲げる教育時間及び回数、当該指定航空従事者養成施設の教育規程に定められる入所要件を考慮して軽減することができる。

別表二

技能証明、技能証明の限定	航空機の種類、等級若	教育の種類及び教育科目	実地試験の科目
の変更、計器	しくは型式又は業務の種類		
飛行証明、操縦教育証明又は整備の基本			

技術の科目		定期運送用操縦士の資格に係る技能証明
		飛行機
	学科教育	
一 空港等及び場周経路における運航	<p>一 航空の安全に関する一般知識</p> <p>二 航空機乗組員間の連携に関する一般知識</p> <p>三 航空機の取扱いに関する一般知識</p> <p>四 航空機の操縦に関する一般知識</p> <p>五 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行</p>	
	<p>一 空港等及び場周経路における運航</p> <p>二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p> <p>三 空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>四 計器飛行方式による飛行のうち次に掲げるもの</p> <p>イ 待機方式</p>	

実技教育	学科教育	
二 各種離陸及び着陸並びに 着陸復行及び離陸中止 三 空中操作及び型式の特性 に応じた飛行 四 計器飛行方式による飛行 五 異常時及び緊急時の操作 六 異常な姿勢の予防及び異 常な姿勢からの回復を行う 飛行	一 航空工学 二 航空気象 三 空中航法 四 航空法規 五 航空の安全に関する一般 知識	ロ 計器進入方式の一 部 ハ 進入復行方式 五 異常時及び緊急時の 操作の一部 一 空港等及び場周経路 における運航 二 各種離陸及び着陸並 びに着陸復行及び離陸 中止 三 基本的な計器による

事業用操縦士の資格に係る	
飛行機	
実技教育	
一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止 三 基本的な計器による飛行 四 異常時及び緊急時の操作 五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型	六 航空機の取扱いに関する一般知識 七 航空機の操縦に関する一般知識 八 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行 飛行
	四 異常時及び緊急時の操作の一部 五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行

	回 轉 翼 航 空 機	
	学 科 教 育	
<p>式 の 特 性 に 応 じ た 飛 行</p> <p>六 夜 間 に お け る 離 陸 及 び 着 陸</p> <p>七 異 常 な 姿 勢 の 予 防 及 び 異 常 な 姿 勢 か ら の 回 復 を 行 う</p> <p>飛 行</p>	<p>一 飛 行 機 の 項 学 科 教 育 の 項 の 科 目 （ 第 八 号 の 科 目 を 除 く。 ）</p>	<p>一 飛 行 機 の 項 実 技 教 育 の 項 の 科 目 （ 第 七 号 の 科 目 を 除 く。 ）</p> <p>二 地 表 付 近 に お け る 操 作</p>
	<p>一 地 表 付 近 に お け る 操 作</p> <p>二 空 港 等 及 び 場 周 経 路 に お け る 運 航</p> <p>三 各 種 離 陸 及 び 着 陸 並 び に 着 陸 復 行 及 び 離 陸</p> <p>中 止</p> <p>四 基 本 的 な 計 器 に よ る</p>	



飛行機		
	学科教育	実技教育
一 事業用操縦士の資格に係	<p>二 航空気象（簡略な概要）</p> <p>く。）</p> <p>一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第二号及び第八号の科目を除く。）</p>	
四 異常時及び緊急時の飛行	<p>一 空港等及び場周経路における運航</p> <p>二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p> <p>三 基本的な計器による飛行</p>	<p>飛行</p> <p>五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>六 異常時及び緊急時の操作の一部</p>

曳 <sup>えい</sup> 航装			
学科教育		実技教育	
<p>七 滑空機の取扱いに関する知識</p> <p>六 航空の安全に関する一般</p> <p>五 国内航空法規（概要）</p> <p>四 航空通信（概要）</p> <p>三 空中航法</p> <p>二 滑空飛行に関する気象（概要）</p> <p>一 航空工学</p>		<p>る技能証明の項飛行機の項実技教育の項の科目（第七号の科目を除く。）</p>	
<p>四 異常時及び緊急時の操作の一部</p> <p>三 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作</p> <p>二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行</p> <p>一 空港等及び場周経路における運航</p>		<p>操作の一部</p> <p>五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p>	

自家用操縦士の資格に係る技能証明		
機 空 滑		
上級滑	置なし 動力滑 空機	
	実技教育	
学科教育	一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行 三 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作 四 異常時及び緊急時の操作	一般知識 八 滑空機の操縦に関する一般知識
一 曳航装置なし動力滑空機の項学科教育の項の科目（第四号の科目を除く。） 二 各種離陸及び着陸 三 曳航による飛行	一 空港等及び場周経路における運航	

空機		回轉翼航空機	
実技教育		学科教育	実技教育
一 曳航装置なし動力滑空機の項実技教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 各種離陸及び着陸 三 曳航による飛行		一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項回轉翼航空機の項学科教育の項の科目	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項回轉翼航空機の項実技教育の項の科目
四 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作 五 異常時及び緊急時の操作の一部		一 地表付近における操作 二 空港等及び場周経路における運航 三 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止 四 基本的な計器による飛行 五 外部視認目標を利用	

学科教育	
<p>四 航空法規等</p> <p>一 機体に関する知識（機体装備品の機能及び整備に関する知識を除く。）</p> <p>二 発動機に関する知識（発動機の機能、性能及び整備に関する知識を除く。）</p> <p>三 電子装備品等に関する知識（機能検査に関する知識を除く。）</p>	
	<p>した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>六 異常時及び緊急時の操作の一部</p> <p>一 整備の基本技術</p> <p>二 整備に必要な知見（動力装置操作等に関する知見を除く。）</p> <p>三 整備に必要な技術</p> <p>四 航空機の点検作業</p>

		一等航空整備士の資格に係る技能証明
		飛行機又は回転翼航空機
	実技教育	
一 N類の航空機の機体に関する技術	<p>五 整備の基本技術に関する知識</p> <p>一 整備の基本技術に関する技術</p> <p>二 整備に必要な知見（発動機及び電子装備品等の作動方法に関する知見を除く。）</p> <p>三 整備に必要な技術（発動機及び電子装備品等の取扱いに関する技術を除く。）</p> <p>四 航空機の点検作業に関する技術</p>	
一 整備の基本技術		

二等航空整備士の資格に係る技能証明	飛行機又は回転翼航空機	学科教育	一 整備の基本技術に関する	二 整備に必要な知見（動力装置操作等に関する知見を除く。）
		。 ）	二 小型の発動機に関する知識（発動機の機能、性能及び整備に関する知識を除く。）	三 整備に必要な技術
		三 N類の航空機の電子装備品等に関する知識（機能検査に関する知識を除く。）	四 航空機の点検作業	
		四 航空法規等		
		五 整備の基本技術に関する知識		

	実技教育	
<p>二 N類の航空機の整備に必要な知見（発動機及び電子装備品等の作動方法に関する知見を除く。）</p> <p>三 N類の航空機の整備に必要な技術（発動機及び電子装備品等の取扱いに関する技術を除く。）</p> <p>四 N類の航空機の点検作業に関する技術</p>	<p>一 機体及び電子装備品等に関する一般知識（機体装備品及び電子装備品等の機能並びに整備に関する一般知識を除く。）</p>	<p>一 整備の基本技術</p> <p>二 整備に必要な知見</p> <p>三 整備に必要な技術</p> <p>四 動力装置の操作（燃料の燃焼により動力装</p>



<p>一等航空運航 整備士の資格 に係る技能証 明</p>	
<p>飛行機又は 回転翼航空 機</p>	
<p>学科教育</p>	<p>実技教育</p>
<p>二 発動機に関する一般知識 三 航空法規等 四 整備の基本技術に関する 基礎知識</p>	<p>一 整備の基本技術に関する 基礎技術 二 整備に必要な一般的知見 （電子装備品等の作動方法 に関する一般的知見を除 く。） 三 整備に必要な基礎技術（ 電子装備品等の取扱いに関 する基礎技術を除く。） 四 動力装置の操作（燃料の 燃焼により動力装置を駆動</p>
<p>置を駆動させて行う作 動点検に係るものを除 く。）</p>	

	<p>二等航空運航 整備士の資格 に係る技能証 明</p>
	<p>飛行機又は 回転翼航空 機</p>
	<p>学科教育</p>
<p>させて行う作動点検に係る ものを除く。）に関する技 術</p>	<p>一 N類の航空機の機体及び 電子装備品等に関する一般 知識（機体装備品及び電子 装備品等の機能並びに整備 に関する一般知識を除く。 ） 二 小型の発動機に関する一 般知識 三 航空法規等 四 整備の基本技術に関する 基礎知識</p>
	<p>一 整備の基本技術 二 整備に必要な知見 三 整備に必要な技術 四 動力装置の操作（燃 料の燃焼により動力装 置を駆動させて行う作 動点検に係るものを除 く。）</p>

	実技教育
<p>一 整備の基本技術に関する基礎技術</p> <p>二 N類の航空機の整備に必要な一般的知見（電子装備品等の作動方法に関する一般的知見を除く。）</p> <p>三 N類の航空機の整備に必要な基礎技術（電子装備品等の取扱いに関する基礎技術を除く。）</p> <p>四 動力装置の操作（燃料の燃焼により動力装置を駆動させて行う作動点検に係るものを除く。）に関する技術</p>	

		機体構造関係	
実技教育		学科教育	
術	三 機体構造に関する基礎技術	一 航空工学に関する一般知識	一 整備の基本技術
	二 機体構造に関する基礎的知見	二 機体構造に関する基礎知識	二 整備及び改造に必要な品質管理の知識
	一 整備の基本技術に関する技術	三 航空法規等	
		四 整備の基本技術に関する知識	
		五 整備及び改造に必要な品質管理に関する知識	

	機体装備品 関係	
	実技教育	学科教育
一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。）	一 整備の基本技術に関する技術 二 機体装備品に関する基礎的知見 三 機体装備品に関する基礎技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 機体装備品に関する基礎知識
一 整備の基本技術 二 整備及び改造に必要な品質管理の知識		

	ピストン発動機関係	
学科教育	実技教育	学科教育
一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 タービン発動機に関する基礎知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 ピストン発動機に関する基礎的知見 三 ピストン発動機に関する基礎技術	目を除く。） 二 ピストン発動機に関する基礎知識
一 整備の基本技術 二 整備及び改造に必要な品質管理の知識	な品質管理の知識	

航空工場整備士の資格に係る技能証明			
タービン発動機関係		プロペラ関係	
実技教育		学科教育	
一 整備の基本技術に関する技術 二 タービン発動機に関する基礎的知見 三 タービン発動機に関する基礎技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 プロペラに関する基礎知識	一 整備の基本技術に関する技術	二 整備及び改造に必要な品質管理の知識

	計器関係		
	実技教育	学科教育	実技教育
一 機体構造関係の項学科教	一 整備の基本技術に関する技術 二 計器に関する基礎的知見 三 計器に関する基礎技術	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 計器に関する基礎知識	二 プロペラに関する基礎的知見 三 プロペラに関する基礎技術
一 整備の基本技術	一 整備の基本技術 二 整備及び改造に必要な品質管理の知識		



電子装備品 関係		
学科教育	実技教育	学科教育
一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 電気装備品に関する基礎	一 整備の基本技術に関する技術 二 電子装備品に関する基礎的知見 三 電子装備品に関する基礎技術	育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 電子装備品に関する基礎知識
一 整備の基本技術 二 整備及び改造に必要な品質管理の知識	二 整備及び改造に必要な品質管理の知識	

無線通信機器関係		電気装備品関係	
	学科教育	実技教育	
一 整備の基本技術に関する	一 機体構造関係の項学科教育の項の科目（第二号の科目を除く。） 二 無線通信機器に関する基礎知識	一 整備の基本技術に関する技術 二 電気装備品に関する基礎的知見 三 電気装備品に関する基礎技術	知識
	一 整備の基本技術 二 整備及び改造に必要な品質管理の知識		

級 飛行機の等		
実技教育	学科教育	実技教育
一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項実技教育の項の科目（第六号及び第七号の科目を除く。）	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第二号から第五号まで及び第八号の科目を除く。）	技術 二 無線通信機器に関する基礎的知見 三 無線通信機器に関する基礎技術
四 異常時及び緊急時の操作の一部 五 外部視認目標を利用	一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止 三 基本的な計器による飛行	

事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更		
	回転翼航空機の等級	
実技教育	学科教育	
一 飛行機の等級の項実技教育の項の科目 二 地表付近における操作	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項学科教育の項の科目（第一号から第五号まで及び第八号の科目を除く。）	く。）
五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操	一 地表付近における操作 二 空港等及び場周経路における運航 三 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止 四 基本的な計器による飛行 五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操	した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行

飛行機の等級		
実技教育	学科教育	
一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の等級の項実技教育の項の科目	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の等級の項学科教育の項の科目	
五 外部視認目標を利用 四 異常時及び緊急時の操作の一部 三 基本的な計器による飛行 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止	一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止	作及び型式の特性に応じた飛行 六 異常時及び緊急時の操作の一部

自家用操縦士の資格に係る		
機 空 滑		
	曳航装 置なし 動力滑 空機の 等級	
	学科教育	
	実技教育	
一 曳航装置なし動力滑空機	一 自家用操縦士の資格に係る技能証明の項滑空機の項曳航装置なし動力滑空機の項実技教育の項の科目	一 航空通信（概要） 二 滑空機の取扱いに関する一般知識 三 滑空機の操縦に関する一般知識
一 空港等及び場周経路	四 異常時及び緊急時の操作の一部	した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行  一 空港等及び場周経路における運航 二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行 三 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作

技能証明の限定の変更			
回転翼航空	等級 空機の 上級滑		
	学科教育	実技教育	学科教育
一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の	一 事業用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項回転翼航空機の等級の項学科教育の項の科目	一 自家用操縦士の資格に係る技能証明の項滑空機の項上級滑空機の項実技教育の項の科目	の等級の項学科教育の項の科目（第一号の科目を除く。）
二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止	一 地表付近における操作 二 空港等及び場周経路における運航 三 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止	五 異常時及び緊急時の操作の一部	二 各種離陸及び着陸 三 曳航による飛行 四 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作 五 異常時及び緊急時の操作の一部

二等航空整備士の資格に係る技能証明の限定の変更			
飛行機又は回転翼航空機の等級		機の等級	
実技教育	学科教育	実技教育	
一 N類の航空機の整備に必要な技術（発動機及び電子	一 小型の発動機に関する知識（発動機の機能、性能及び整備に関する知識を除く。）	項回転翼航空機の等級の項 実技教育の項の科目	
二 整備に必要な技術	一 整備に必要な知見（動力装置操作等に関する知見を除く。）	四 基本的な計器による飛行	
三 航空機の点検作業		五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行	
		六 異常時及び緊急時の操作の一部	



	二等航空運航 整備士の資格 に係る技能証 明の限定の変 更		
	飛行機又は 回転翼航空 機の等級		
学科教育	実技教育	学科教育	
一 航空工学 二 航空機の取扱いに関する 一般知識	一 N類の航空機の整備に必 要な基礎技術（発動機及び 電子装備品等の取扱いに関 する基礎技術を除く。）	一 小型の発動機に関する一 般知識（発動機の機能、性 能及び整備に関する一般知 識を除く。）	装備品等の取扱いに関する 技術を除く。）
一 空港等及び場周経路 における運航 二 各種離陸及び着陸並	一 整備に必要な知見 二 整備に必要な技術		

定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更		飛行機の型式	
実技教育			
<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項実技教育の項の科目</p>		<p>三 航空機の操縦に関する一般知識</p> <p>四 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行</p>	
<p>五 異常時及び緊急時の操作の一部</p> <p>ハ 進入復行方式</p> <p>ロ 計器進入方式の一部</p>		<p>三 空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>四 計器飛行方式による飛行のうち次に掲げるもの</p> <p>イ 待機方式</p> <p>ロ 計器進入方式の一部</p>	
		<p>びに着陸復行及び離陸中止</p>	

	事業用操縦士の資格に係る技能証明の限		
	飛行機の型式		
	学科教育	実技教育	
	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の型式の項学科教育の項の科目</p>	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の型式の項実技教育の項の科目</p>	<p>一 定期運送用操縦士の資格</p>
	<p>一 空港等及び場周経路における運航</p> <p>二 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p> <p>三 基本的な計器による飛行</p> <p>四 異常時及び緊急時の操作の一部</p> <p>五 外部視認目標を利用した空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p>		<p>一 地表付近における操</p>

	定の変更	
	回転翼航空機の型式	
	実技教育	学科教育
一 定期運送用操縦士の資格	<p>一 定期運送用操縦士の資格に係る技能証明の項飛行機の項実技教育の項の科目（第六号の科目を除く。）</p> <p>二 地表付近における操作</p>	<p>に係る技能証明の限定の変更の項飛行機の型式の項学科教育の項の科目（第一号及び第四号の科目を除く。）</p>
一 空港等及び場周経路	<p>六 異常時及び緊急時の操作の一部</p> <p>五 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行</p> <p>四 基本的な計器による飛行</p> <p>三 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p>	<p>作</p> <p>二 空港等及び場周経路における運航</p> <p>三 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止</p>

<p>           更            明の限定の変            に係る技能証            操縦士の資格            准定期運送用         </p>		<p>           式            飛行機の型         </p>	
<p>実技教育</p>		<p>学科教育</p>	
<p>           更の項飛行機の型式の項実            技教育の項の科目         </p>		<p>           更の項飛行機の型式の項学            科教育の項の科目         </p>	<p>           に係る技能証明の限定の変            における運航         </p>
<p>           五 異常時及び緊急時の            操作の一部         </p>		<p>           二 各種離陸及び着陸並            びに着陸復行及び離陸            中止         </p>	
<p>           ハ 進入復行方式         </p>		<p>           三 空中操作及び型式の         </p>	
<p>           ロ 計器進入方式の一            部         </p>		<p>           特性に応じた飛行         </p>	
<p>           イ 待機方式         </p>		<p>           四 計器飛行方式による            飛行のうち次に掲げる            もの         </p>	

		<p>一等航空整備士の資格に係る技能証明の限定の変更</p>	
		<p>飛行機又は回転翼航空機の型式</p>	
		学科教育	実技教育
<p>一 推測航法及び無線航法</p> <p>二 計器飛行等の飛行計画</p> <p>三 計器飛行等に関する航空</p>	<p>一 一等航空整備士の資格に係る技能証明の項飛行機又は回転翼航空機の項学科教育の項の科目（第四号及び第五号の科目を除く。）</p>	<p>一 一等航空整備士の資格に係る技能証明の項飛行機又は回転翼航空機の項実技教育の項の科目（第一号の科目を除く。）</p>	<p>一 推測航法及び無線航法</p> <p>二 計器飛行等の飛行計画</p> <p>三 計器飛行等に関する航空</p>
<p>一 基本的な計器による飛行</p> <p>二 空中操作及び型式の</p>	<p>一 整備に必要な知見（動力装置操作等に関する知見を除く。）</p> <p>二 整備に必要な技術</p> <p>三 航空機の点検作業</p>		

	計器飛行証明	
	飛行機又は 回転翼航空 機	
学科教育	実技教育	学科教育
一 操縦教育の実施要領 二 危険及び事故の防止法	一 空中操作及び型式の特性 に応じた飛行 二 計器飛行方式による飛行 三 異常時及び緊急時の操作	法規 四 計器飛行等に関する人間の 能力及び限界に関する一 般知識 五 航空機の取扱いに関する 一般知識 六 航空機の操縦に関する一 般知識
一 模範実技（事業用操縦士の資格についての	四 異常時及び緊急時の 操作の一部	特性に応じた飛行 三 計器飛行方式による 飛行のうち次に掲げる もの イ 待機方式 ロ 計器進入方式の一 部 ハ 進入復行方式

操縦教育証明		
飛行機		
回転翼航空機又は滑空機	実技教育	学科教育
三 救急法 四 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行	一 操縦の教育の要領及び模範実技（事業用操縦士の資格についての技能証明に係る実地試験の科目に関するもの） 二 異常な姿勢の予防及び異常な姿勢からの回復を行う飛行	一 飛行機の項学科教育の項の科目（第四号の科目を除く）
技能証明に係る実地試験の科目に関するもの	一 模範実技（事業用操縦士の資格についての	



	一等航空整備士又は二等航空整備士の資格についての技能証明に係る整備の基本技術の科目			
機体構造関	飛行機又は回転翼航空機		機	
学科教育	実技教育	学科教育	実技教育	
一 整備の基本技術に関する	一 整備の基本技術に関する技術	一 整備の基本技術に関する知識	一 飛行機の項実技教育の項の科目（第二号の科目を除く。）	く。）
一 整備の基本技術	一 整備の基本技術		技能証明に係る実地試験の科目に関するもの	

一等航空運航	航空工場整備士の資格について の技能証明に係る整備の基本技術の科目		
	係、機体装 備品関係、 ピストン発 動機関係、 タービン発 動機関係、 プロペラ関 係、計器関 係、電子装 備品関係、 電気装備品 関係又は無 線通信機器 関係		
学科教育	実技教育		
一 整備の基本技術に関する	一 整備の基本技術に関する 技術		知識
一 整備の基本技術			

整備士又は二等航空運航整備士の資格についての技能証明に係る整備の基本技術の科目	飛行機又は回転翼航空機		基礎知識	
		実技教育	一 整備の基本技術に関する基礎技術	

備考 第三欄に掲げる教育科目は、当該指定航空従事者養成施設の教育規程に定められる入所要件を考慮して軽減することができる。